

第7版 (2020年12月1日)

リスク計画書

児童にプログラミング的思考を養成する 交通安全アプリケーション開発プロジェクト

児童にプログラミング的思考を養成する交通安全アプリケーション開発プロジェクト

1. プロジェクトのメンバー

- ・ プロジェクトマネージャー
B8P31031 児玉祥人
- ・ プログラマー
B8P31021 鎌田悠椰
B8P31081 星川大輝
B8P31089 松元優吾
- ・ デザイナー
B8P31000 田村幸亮
B8P31099 山家大地

2. この企画を示す目的

- ・ 小学校でのプログラミング教育で必要とされる、主体的に取り組む態度を涵養するアプリケーションを作成すること。
- ・ プログラミング教育で育む資質・能力の一つである論理的に考えていく力、プログラミング的思考を育むこと。
- ・ 前操作期から具体的操作期へと変化して行く中、交通安全の意識は小さい。付き添ってくれる大人のいない通学の時間では、自分で安全を確保しなくてはならない。交通ルールの大切さを知ってもらい、児童が交通事故に遭遇する可能性を少しでも減らす。

3. プロジェクトの目標

- ・ 児童が操作しやすく理解のしやすいアプリケーションを目指す。
- ・ 小学生のうちから論理的思考を鍛える。
- ・ 面白いコンテンツでプログラミング学習に対して苦手意識を克服させること。
- ・ 児童が交通安全に意識を持たせ、どうしたら安全に危険に陥ることなく道を歩けるか

を理解させる。

4. プロジェクトの成果物
作成中

5. プロジェクトの資源

- ・ デバイス

iPhone

- ・ ソフト / ツール

- ・ 言語

C#

6. プロジェクトマネジメントの方針

コミュニケーションを図る

- ・ 毎週ミーティングを行う

- ・ Googleドライブを使用し、共有する

7. マネジメント書類の管理

- ・ ExcelやWordを用いて、EVM、WBS、ガントチャート、企画書等の書類の作成を行う。

- ・ 管理については、主にプロジェクトマネージャーが行う。

8. プロジェクトのスケジュール

作成中